

▶ 骨髄移植ドナー支援事業

申 固 健康づくり推進課(☎025-520-5712)

白血病などの血液難病に苦しむ人のために骨髄などを提供した人（ドナー）およびドナーが勤務する事業所などに、助成を行います。



詳しくは



区分	助成対象	助成額
ドナー本人	市内在住で、（公財）日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において骨髄などの提供が完了し、証明書類の交付を受けた人	ドナー特別休暇制度がない事業所などに勤務する場合 骨髄などの提供に必要な通院または入院の日数×2万円（上限14万円）
		ドナー特別休暇制度がある事業所などに勤務する場合 骨髄などの提供に必要な通院または入院の日数×1万円（上限7万円）
ドナーが勤務する事業所など	ドナー特別休暇制度を設けており、骨髄などを提供したドナーの雇用を証明する書類を提出できる市内の事業所など ※ただし国・地方公共団体および独立行政法人を除く	骨髄などの提供に必要な通院または入院の日数×1万円（上限7万円）

▶ 市内で特殊詐欺被害が多発しています

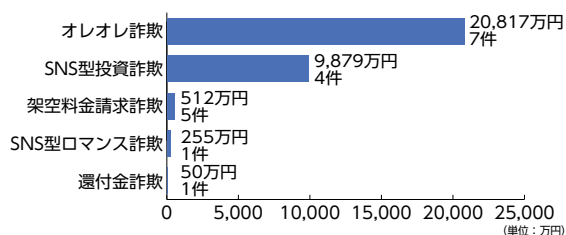
固 市民安全課(☎025-520-5661)

電話やメール、SNSなどにより対面することなく言葉巧みに被害者を信頼させ、指定した預貯金口座への振り込みなどの方法により、不特定多数の人から現金やキャッシュカード等をだまし取る「特殊詐欺」の被害が市内で多発しています。

● 昨年は3億円超えの甚大な被害

昨年はオレオレ詐欺（ニセ警察詐欺）、SNS型投資詐欺などの手口により、20代から高齢者まで、幅広い年齢層で被害が発生しています。市内における被害額は過去最高の3億円を超えており、今年も6月末現在で15件、1億9,009万円（暫定値）の被害が出ています。

○ 市内の特殊詐欺の被害額（令和7年）



● 特殊詐欺の始まりは電話から

県内では、特殊詐欺被害のうち、約7割が詐欺電話から始まっています。警察官など他人になりすまして電話をかける手口が多く、詐欺を見抜くことが非常に困難であるため、まずは犯人からの電話を受けない対策が重要です。犯人が使うことが多い国際電話などを、スマートフォンアプリでブロックすることも有効な対策です。詳しくは、警察庁特殊詐欺対策ページをご覧ください。



警察庁 特殊詐欺対策ページ



市ホームページ

市内では次の手口が多くなっています

● ニセ警察詐欺

警察を名乗って電話をかけ、警察手帳や逮捕状を見せたり、LINEなどのSNSに誘導したりすることによって、捜査などを名目にお金をだまし取る詐欺です。

- ・警察が、電話で捜査対象となっていることを伝えることはありません。
- ・SNS等で、警察手帳や逮捕状の画像を送ったり、ビデオ通話をしたりすることはありません。

● SNS型投資詐欺

SNSなどで偽の投資に誘い、スマートフォンなどの画面に利益が上がったかのような偽の情報を表示させるなどして安心させ、投資金などの金銭をだまし取る詐欺です。

- ・面識のない相手からの投資話は詐欺を疑いましょう。
- ・SNSで投資に勧誘されアプリのインストールを促されたら、詐欺を疑いましょう。



● あやしいと思ったら、すぐに相談・通報を

電話で「お金」の話が出たら、一人で判断せず家族や友人、警察署に相談しましょう。
上越警察署（☎025-521-0110）、妙高警察署（☎0255-72-0110）



お知らせ

もよおし・講座

募集

無料相談